報道関係者各位

2026年11月18日

即時脱型コンクリート製品の「CO_2を見える化」

即時脱型コンクリート製品のCFP算定・表示の普及を目指す「Dry Casting CFP Consortium」の取組み
― 建設分野の脱炭素化に向け、業界共通のCFP算定・表示の仕組みづくりを推進―



Dry Casting CFP Consortium（以下「本コンソーシアム」）は、組積用空洞コンクリートブロック、型枠状ブロック、間知ブロックやインターロッキングブロックをはじめとする「即時脱型方式（Dry Casting）」で製造されるコンクリート製品について、カーボンフットプリント（CFP）の算定・表示を普及させることを目的として、2025年7月より活動をしています。
本コンソーシアムでは、製品ごとのCO_2排出量を共通の考え方で算定できる仕組みを整備し、その算定結果の信頼性を確保するとともに、建設事業者や設計者、発注者が環境負荷の小さい製品を適切に評価・選択できる環境の構築を目指します。

建設分野でも求められる「製品単位のCO_2排出量」

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建設分野においても、建築物や社会インフラのライフサイクル全体でCO_2排出量を把握し、削減していくことの重要性が高まっています。
これまでの「環境に配慮した製品」という評価だけでなく、原材料の調達やその輸送、製造などの各段階で、実際にどれだけの温室効果ガスが排出されているのかを定量的に示すことが求められています。
そのために重要となるのが、製品・サービスの温室効果ガス排出量をCO_2換算で示す「カーボンフットプリント（CFP）」です。
一方、プレキャストコンクリート二次製品は、使用するセメントや骨材、混和材、製造設備、電力、配合などが製品・工場によって異なります。
各社がそれぞれ異なる方法でCFPを算定した場合、その数値を公平に比較・評価することが難しくなります。
そこで本コンソーシアムでは、即時脱型コンクリート製品について、業界で共通して利用できるCFP算定の仕組みを構築しています。

「同一のルールで算定できる」共通ルールを整備

本コンソーシアムでは、CFPの算定方法を定めるPCR（Product Category Rules：製品カテゴリールール）を基礎として、即時脱型コンクリート製品に適した共通の算定方法を整備しています。
さらに、専門的な知識を持たない企業でも取り組めるよう、原材料の使用量や製造時のエネルギー使用量など必要な情報を入力することでCFPを算定できる共通計算フォームの整備・運用を進めています。
これにより、大企業だけでなく、中小規模のコンクリート製品メーカーもCFP算定に取り組みやすい環境をつくります。

「算定する」だけでなく「信頼できる数値」に



本コンソーシアムでは、CFPの算定方法を定めるPCR（Product Category Rules：製品カテゴリールール）を基礎として、即時脱型コンクリート製品に適した共通の算定方法を整備しています。
さらに、専門的な知識を持たない企業でも取り組めるよう、原材料の使用量や製造時のエネルギー使用量など必要な情報を入力することでCFPを算定できる共通計算フォームの整備・運用を進めています。
これにより、大企業だけでなく、中小規模のコンクリート製品メーカーもCFP算定に取り組みやすい環境をつくります。

CO_2排出量を「製品を選ぶための新しい指標」へ

今後、建設分野においては、価格、品質、耐久性、意匠性などに加えて、「CO_2排出量」も製品を評価する重要な指標の一つになることが想定されます。
CFPが適切に評価される市場が形成されれば、セメント使用量の削減、高炉スラグ微粉末などの低炭素材料の活用、再生材料の利用、再生可能エネルギーの導入、製造工程の省エネルギー化など、メーカー各社のCO_2削減努力を製品価値として示すことが可能になります。
本コンソーシアムが目指しているのは、単なる「CO_2の計算方法」の普及ではありません。
CO_2削減に取り組んだ企業・製品が適切に評価され、選ばれる市場をつくること。
そのための共通基盤を、コンクリート製品業界全体で構築していきます。

Dry Casting CFP Consortiumの主な活動

本コンソーシアムでは、主に以下の活動を進めています。
・即時脱型コンクリート製品に関するPCRの維持・改訂
・CFP共通計算フォームの開発・改訂
・CFP算定方法に関する技術支援・情報提供
・第三者による妥当性確認スキームの構築・運営
・妥当性確認済み製品の登録・情報公開
・建設事業者、設計者、行政・発注機関等へのCFP普及活動
・大学・研究機関・関連団体等との連携
・低炭素型コンクリート製品の普及促進

業界の垣根を越えて、建設分野の脱炭素化へ

即時脱型方式は、インターロッキングブロック、舗装用コンクリート製品、組積用コンクリートブロックなど、さまざまな製品に利用されています。
本コンソーシアムでは、特定の企業や製品だけの取り組みとするのではなく、メーカー、業界団体、研究機関、関連企業などとの連携を広げながら、業界共通の社会インフラとしてCFP算定・表示の仕組みを育てていきます。
そして将来的には、建設プロジェクトにおいてCFP情報が当たり前に活用され、よりCO_2排出量の少ない製品を選択できる市場環境の実現を目指します。
「測る」から「減らす」へ。
そして、「減らした製品が選ばれる」市場へ。
Dry Casting CFP Consortiumは、コンクリート製品業界から建設分野の脱炭素化に貢献していきます。

Dry Casting CFP Consortium

【本件に関するお問い合わせ】
Dry Casting CFP Consortium
事務局：増渕事務局長
https://www.facebook.com/profile.php?id=61596493503569

▼Facebook